

平成 29 年度

事業報告書のあらまし

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

高松商工会議所

目次

I	総括的概要	1
II	平成 29 年度の当所トピックス	2
III	取組方針 I 中小・小規模企業の活力強化	6
	重点施策 1 中小・小規模企業の経営力向上支援	6
	重点施策 2 雇用・労働力確保対策の推進	9
	重点施策 3 健康経営の普及・啓発	12
	重点施策 4 環境対策・省エネルギーの推進	13
	重点施策 5 異業種交流活動・産学官連携	14
IV	取組方針 II 地域の活性化	15
	重点施策 1 魅力あふれる観光と地域資源を活かした地域産業の振興	15
	重点施策 2 中心市街地・商店街の活性化	17
	重点施策 3 地域社会におけるリーダーシップの発揮	18
	重点施策 4 国際化の推進	21
	重点施策 5 関係団体等との連携協力、広域連携の推進	21
V	取組方針 III 会員サービスの充実と組織の強化	24
	重点施策 1 会員サービス事業の充実	24
	重点施策 2 運営基盤と財政基盤の強化	29
	重点施策 3 事務局体制の充実	31
	重点施策 4 会議所会館の管理運営	34
	重点施策 5 特定商工業者法定台帳作成、管理及び運用	35
VI	意見活動	36
VII	組織等の状況	39
	1 組織	39
	2 役員・議員等	39
	3 部会	45
	4 委員会	46
	5 正副部会長・正副委員長懇談会	47
	6 青年部	48
	7 女性会	49

I 総括的概要

わが国経済は、個人消費や輸出に持ち直しの動きが見られるほか、企業収益の改善、設備投資の緩やかな増加、雇用情勢の着実な改善などにより、緩やかな回復を続けています。また、香川県の経済においても、個人消費の着実な持ち直しや生産活動の緩やかな回復に伴い、全体としては緩やかな回復基調にあります。さらに、香川県への訪日客は順調に増加しており、このインバウンドが景気回復の牽引役として期待されております。

一方、国際的な視野に立てば、朝鮮半島や中東等における地政学上のリスクや、米国による関税引き上げをはじめとする反グローバリズムの動きなど、さまざまな不安要因が存在しており、先行きは不透明な状況にあります。また、国内においては、人口減少や少子高齢化に伴う労働力不足などの課題を抱えており、取りわけ地方においては、持続的な経済成長を阻害しかねない課題が山積しています。

このような状況下、平成29年度事業については、当該年度からスタートした新たな行動計画(2017.4～2021.3)において、『環境の変化に力強く対応できる事業活動の創造』、『地域資源を最大限活用する産業と文化の創造』を基本目標とし、これを実現するため、「中小・小規模企業の活力強化」、「地域の活性化」、「会員サービスの充実と組織の強化」の3つの取組方針に基づき様々な事業を実施しました。

一つ目の柱である「中小・小規模企業の活力強化」においては、新規創業者の育成や円滑な事業承継のサポート等経営力向上支援をはじめ、就職面接会・研修会や各種検定試験等による労働力確保支援及び健康経営の普及・啓発等に取り組み、特に、ワンストップでの経営課題解決や円滑な事業引継ぎを支援するために後継者バンクの創設を実施しました。

二つ目の柱である「地域の活性化」においては、地域資源を活かした産業の振興をはじめ、中心市街地・商店街の活性化及び次世代リーダーの育成等に取り組み、特に、地域の文化や歴史を学ぶ「高松新歴史めぐり見学会」を実施したほか、中心市街地観光マップの作成、第4回高松ピアノコンクールへの協力及び関係機関と連携した「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向けた活動を実施しました。

三つ目の柱である「会員サービスの充実と組織の強化」においては、会員事業所の情報発信や健康管理サポート、共済制度の充実、職員の能力向上等に取り組み、特に、新製品や新サービスの広報を支援するプレスリリースサポートサービス、会報誌のチラシ同封サービス及びマル経融資を受けた事業所に対する利子補給制度を創設したほか、役員・議員の協力を得て新規会員獲得に向けた会員増強活動を展開し、28年度末の会員数を大幅に上回る成果が得られました。

一方、国・県・市等に対しては、中小・小規模企業対策や税制改正をはじめ、少子化・人口減少対策、四国への新幹線導入及び「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産暫定一覧表記載等について積極的な「意見活動」を行ったほか、四国地方整備局や香川県、高松市との懇談会等を実施し、経済環境の改善を求めた意見交換を行いました。

なお、本年度における事業成果を踏まえ、当所が果たすべき役割や取り組むべき課題を改めて整理し、次年度以降の当所事業に反映していくこととしています。

Ⅱ 平成 29 年度の当所トピックス

1 新会頭に渡邊智樹氏が就任

7月25日、第162回通常議員総会において第18代高松商工会議所会頭に㈱百十四銀行 代表取締役会長 渡邊智樹氏が選任された。

新会頭就任にあたり、「伝統ある職を引き継ぐということは身に余る光栄であり、重責に身の引き締まる思い」と謙虚に受け止めつつ、「地域の産業の発展と活性化を目指して全力を尽くす」との決意を表明。



2 かがわーくフェア（秋の就職面接会）

10月5日、中小企業の労働力確保を支援するため、かがわーくフェアをサンメッセ香川にて開催。（香川労働基準局・香川県・高松市ほか4団体共催）

このかがわーくフェアは、年3回開催しており、本年度の2回目を当所が主管し、「秋の就職面接会」として、来春卒業予定の学生や既卒者、中途採用希望者を対象に正社員としての就職を支援。

企業135社、求職者86人が参加。



3 中小企業の生産性向上・人材確保 など8項目を決議

11月2日、第42回香川県商工会議所議員大会並びに中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会（香川県商工会連合会ほか3団体共催）を開催。県下商工会議所及び商工会の役員・議員並びに中小企業団体の役員など約150人が出席し、集会決議として8項目の要望事項が決議された。



4 かがわ産業マッチングフェア

11月22日、香川県内の産業の活性化を図るため、県下商工会議所と商工会合同のマッチングフェアをサンメッセ香川で開催。（中小機構四国ほか共催）

郷土香川の中小企業が育んだ、魅力ある商品を持つ70社（94人）、県内外のバイヤー46社（77人）をはじめ226人が来場。



5 高松市長と当所との懇談会

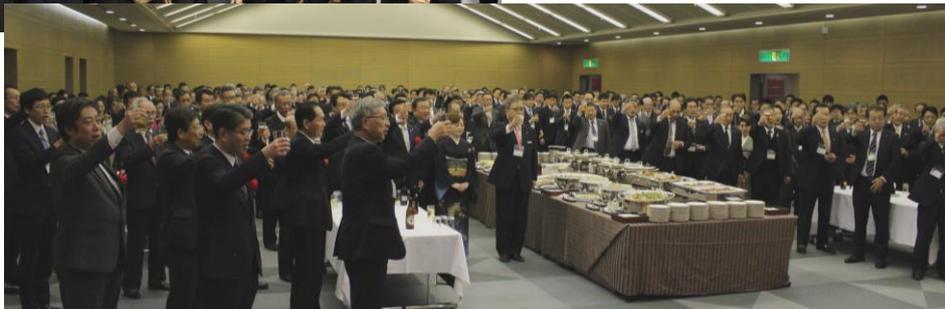
11月30日、高松市長と高松商工会議所との懇談会を開催。

高松市からは、大西市長はじめ副市長、幹部職員が、当所からは渡邊会頭をはじめ副会頭、専務理事、常務理事が出席し、「中小企業の事業承継」、「屋島の活性化」の2つのテーマについて意見交換を行った。



6 新春会員名刺交換会

平成30年1月9日、毎年恒例の新春会員名刺交換会を当所会館にて開催。渡邊会頭の主催者挨拶の後、参加者は新年の挨拶を交わしながら今後の景気見通し、業界の景況について情報交換が行われた。会員370人が参加。



7

讃岐男女に阿波男女 ~ちょっとおしゃれな大人の「婚活」

平成 30 年 2 月 10 日、特別名勝栗林公園内の商工奨励館にて今年で 6 回目となる徳島商工会議所との共同婚活パーティーを開催。

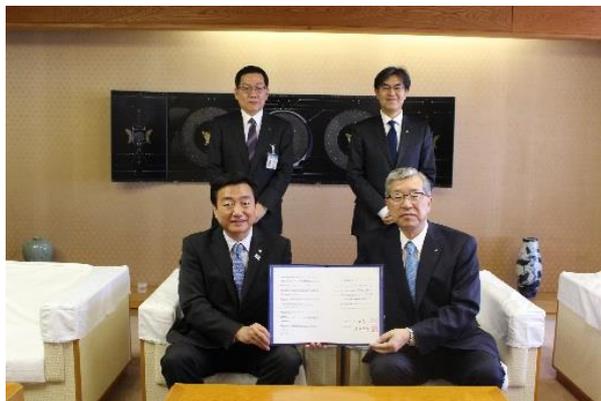
香川県側からは男性 21 人、女性 12 人、徳島県側からは男性 4 人、女性 8 人の総勢 45 人が参加し、9 組のカップルが誕生。



8 高松市と「移住者の起業・就業 等支援に関する協定書」を締結

平成 30 年 3 月 27 日、高松市と相互の人的・知的資源を有効に活用しながら高松市への移住・定住を促進し、地域経済の発展及び地域活力の維持・向上を目的に、移住者への起業・就業支援に関する協定を締結した。

平成 30 年度には、「たかまつ移住創業プロジェクト」として首都圏でのセミナー開催など具体的な起業・就職の支援を行う。



環境の変化に力強く対応できる事業活動の創造

Ⅲ 取組方針Ⅰ：中小・小規模企業の活力強化

重点施策1 中小・小規模企業の経営力向上支援

中小・小規模企業の販売力強化と利益向上を図るため、中長期にわたって伴走型の支援を実施するとともに、新規創業者の育成、円滑な事業承継のサポート、ICTの利活用等の促進に努めた。

(1) 事業計画策定支援

制度融資並びに各種補助金の利用にあたり、経営者の描く事業計画について、改めて検討・整理し、より投資効果が高く、実行性のある計画に纏めるための支援セミナーの開催や、専門家による個別相談により、付加価値の高い経営計画の策定・見直しの支援をした。(相談件数：14件、事業計画策定支援件数：44件)

(2) 経営分析支援 **新規**

本年度の新規事業として、ワンストップでの経営課題解決を目的に、税理士、中小企業診断士等各分野の専門家(4人)を一堂に集めて個別相談会を開催するとともに、伴走型小規模事業者支援推進事業「ヒアリング調査」等を実施した。

(相談件数9件、ヒアリング調査：40件、経営分析支援件数：155件)

(3) 創業・第二創業(経営革新)支援

高松市が認定を受けた「創業支援事業計画」に基づき、関係金融機関等との連携により「創業塾」、「第二創業(経営革新)セミナー」、「個別相談会」を開催し、高松市内における創業者の輩出を支援した。

(相談件数：77件、創業計画策定支援件数：34件、セミナー開催：11回)



【9月2日～23日・2017たかまつ創業塾】

(4) 販路開拓・販売促進支援

「香川県下商工会議所・商工会かがわ産業マッチングフェア」をサンメッセ香川において開催し、地元企業と県内外のバイヤー等との出会いの場を創出した。

(出展企業70社・県内外のバイヤー46社・延出席者：226人、商談件数：347件)



【11月22日・香川県下商工会議所・商工会かがわ産業マッチングフェア】

(5) 事業承継支援

①香川県事業引継ぎ支援センター事業の推進（平成26年10月1日受託）

後継者不在等の悩みを抱える中小企業者や経営資源を引き継ぐ意思のある中小企業者等からの相談を受け、事業の譲渡や承継等に関する助言やマッチング等、中小企業の事業引継ぎを支援した。

（相談件数：107件、支援完了件数：11件、セミナー開催：3回）

②後継者バンク事業の創設 **新規**

当所無料職業紹介事業を活用し、創業希望者と事業譲渡希望者とのマッチングを行い、円滑な事業の引継ぎを支援することを目的として「後継者バンク」を創設した。

(6) ICTの利活用促進

人手不足を解消し、生産性の向上を実現するための効果的な方策として、ICTの利活用を推進し、個別相談、セミナーの開催及びパソコン教室の実施等により、中小・小規模企業への積極的な導入を支援した。

（パソコン教室受講者：延22,140人、セミナー開催：4回）

(7) 中小企業再生支援

①香川県中小企業再生支援協議会事業の推進（平成15年3月14日受託）

経営の建て直しを図ろうとする中小企業に対し、金融機関、外部専門家との連携により再生計画策定支援を実施し、再生に向けた取組みを支援した。

（相談件数：70件、支援完了件数：14件）

②香川県経営改善支援センター事業の推進（平成25年2月27日受託）

財務上の経営課題を抱えている中小企業が、金融機関、税理士等と連携して経営改善計画を策定し、経営改善を図る取組みに対し、税理士等による経営改善計画策定費用の2/3を負担（上限200万円）した。

（相談件数：153件、支援完了件数：97件（うち早期：46件））

(8) 中小・小規模企業へのBCP対策支援

中小企業BCP対策セミナーを開催した。 （セミナー開催：5回）

(9) 経営指導員等の資質向上

経営支援業務担当職員を対象に、「中小企業大学校研修」、「日本商工会議所研修」、「職員の資格取得補助」等により、専門知識や課題解決ノウハウの習得を図り、個社支援能力の向上に努めた。 （研修参加：23回）

(10) その他中小・小規模企業の経営力向上支援

経営指導員 17 人、経営支援員 7 人を設置し、巡回・窓口相談 13,599 件に対応した。
また、記帳指導員 7 人、専門指導員 49 人を委嘱して経営課題解決に努めたほか、各種セミナーを開催し、中小・小規模企業の経営力向上支援に努めた。

(セミナー開催：61 回)



【5月11日・労務管理セミナー】



【5月8日～19日・3級簿記講習会】



【12月19・21日・法務セミナー】



【平成30年3月2日・2018経済講演会】

【重点施策1：中小・小規模企業の経営力向上支援 成果指標】

指標名	指標の概要	現状値		目標値 (33年度)
		(27年度)	(29年度)	
窓口・巡回相談件数	経営指導員等による 窓口・巡回相談件数	13,170 件/年	13,599 件/年	14,400 件/年
経営分析件数	事業所の経営分析実 施件数	144 件/年	155 件/年	150 件/年
事業計画策定事業所数	経営に関する事業計 画策定事業所数	99 社/年	44 社/年	130 社/年
創業計画策定支援回数	起業者の創業計画策 定支援回数	94 回/年	34 回/年	100 回/年
事業引継ぎ支援完了件数	事業引継ぎ支援セン ターにおける事業引 継ぎ支援完了件数	7 件/年	11 件/年	15 件/年

重点施策2 雇用・労働力確保対策の推進

少子高齢化を踏まえ、中小企業における人手不足を補うとともに、一層の生産性向上を図るため、就職面接会の開催等を通じて企業と多様な人材のマッチングの場の提供を行った。また、就職活動を控えた学生等に地元企業の情報・魅力を発信するとともに、都市部の多様な人材に向けて、地方の魅力、地元企業の魅力を発信する等によりU I Jターンの促進に努めた。

(1) かがわーくフェア（就職面接会）の実施

平成30年3月卒業予定の大学・短大・専門学校生等を対象とする合同就職面接会を香川労働基準局、香川県等との共催で開催した。（面接会開催：3回）



【10月5日・かがわーくフェア（秋の就職面接会）】

(2) 香川県地域ジョブ・カードセンター事業の推進（平成20年4月1日受託）

ジョブ・カード制度の普及推進を目的として、香川県全域の企業を対象に周知広報を行うとともに、ジョブ・カード制度を活用し、安定的な雇用の促進を図る有期型実習訓練等を実施する企業を支援した。

（ジョブ・カード普及パートナー企業数：562社、訓練修了者数：51人、正社員化数：37人）

(3) 無料職業紹介所の運営及び地域中小企業・小規模事業者人材確保支援等事業（平成28年4月1日受託）の実施

会員事業所の求人情報の収集・提供及び会員企業と求職者の申込を受け、双方の雇用関係の成立を斡旋した。

（職業紹介により就職した人数：4人）

また、地域の多様な人材の中から、中小企業等のニーズに即した人材を発掘、企業への紹介、職場定着までの一貫した支援を行った。

（専門家派遣：延 227人・指導人数：延 744人、セミナー開催：13回）



【5月18日・きらり企業発見講座】



【7月12日・香川で暮らす働きたい女性応援サロン】



【平成30年2月9日・人事担当者セミナー】

(4) UIJターン就職に関する事業の協力

都市部の若者と香川県内の企業とのマッチング等を促進している自治体や他団体の事業に協力した。
(イベント参加：3回)



【9月9日・香川県移住フェア2017 東京】



【12月23日・就活ソニック2017】

(5) 人材育成支援事業の実施

若手後継者や新入社員を対象とした研修会や簿記講習会等の開催及び各種検定試験の実施により、人材育成支援に努めた。

(研修会開催：2回、検定試験：38回・受験者：延4,935人)



【平成30年3月26・27日・新入社員研修講座】

◆各種検定試験の実施

試験名・実施回数等	受験者数 (人)	試験名・実施回数等	受験者数 (人)
珠算（そろばん）能力検定試験 1級～6級（3回）	786	電卓技能検定試験 段位～3級（3回）	299
随時：4級～6級（11回）	491	随時：4級～6級（5回）	46
簿記検定試験 1級（2回）、2級～3級（3回）	1,632	福祉住環境コーディネーター検 定試験 2級～3級（2回）	344
リテールマーケティング（販売士） 検定試験 1級（1回）、2級（2回）、3級（2 回）	162	環境社会（eco）検定試験（2回）	360
カラーコーディネーター検定試験 2級（2回）、3級（2回）	44	メンタルヘルス・マネジメント検 定試験 I種（1回）、II種～III 種（2回）	490
ビジネス実務法務検定試験 2級（2回）、3級（2回）	178	ビジネスマネジャー検定試験（2 回）	73
		消費生活アドバイザー試験 第1次試験（1回）	30

【 重点施策2：雇用・労働力確保対策の推進 成果指標 】

指標名	指標の概要	現状値		目標値 (33年度)
		(27年度)	(29年度)	
正社員化数	ジョブ・カードを活用した職 業訓練により正社員となった 人数	30人/年	37人/年	70人/年
職業紹介 (就職者数)	無料職業紹介所の職業紹介に より就職した人数	5人/年	4人/年	20人/年

重点施策3 健康経営の普及・啓発 新規

人口減少・少子高齢化により労働力人口が減少する中、働き盛り世代の生活習慣病は増加傾向にある。このような中、人材の確保や生産性向上の観点から、従業員の健康増進にかかる支出をコストとして捉えるのではなく、経営的な投資として捉え、従業員の健康増進を戦略的に推進する「健康経営」の普及・啓発に努めた。

(1) 事業所まるごと健康宣言の推進

従業員の健康増進、快適な職場環境の形成は、生産性の向上や企業のイメージアップ、従業員の定着率の向上に繋がる戦略的な取組みであり、会員事業所における健康経営を推進した。(取組事業所数：40社)



(2) 健康経営の普及・啓発

企業活力や生産性の向上等組織の活性化を図り、業績向上を目指すためには、従業員の健康保持・増進が不可欠であることから、「健康経営セミナー」を開催し、健康経営への取組みについて普及・啓蒙を図った。(セミナー開催：3回)

【 重点施策3：健康経営の普及・啓発 成果指標 】

指標名	指標の概要	現状値		目標値 (33年度)
		(27年度)	(29年度)	
健康経営に取り組む会員事業所数	県と協会けんぽ香川支部が協働して実施している「事業所まるごと健康宣言」に取り組む会員事業所数	16社	40社	100社

重点施策 4 環境対策・省エネルギーの推進

地球環境問題は、21 世紀最大の課題であり、その解決には環境と経済の両立が不可欠である。持続可能な社会を実現するために、中小・小規模企業が取り組む環境・省エネルギー対策を支援するとともに、「環境行動計画」に基づき環境関連事業を実施した。

(1) エコアクション 21 地域事務局高松の運営及び認証・登録制度の導入促進

エコアクション 21 は、全ての事業者が環境への取組みを効果的、効率的に行うことを目的に、環境省が策定したガイドラインであり、認証・登録制度の導入促進等、中小企業の環境活動を支援した。

(地域判定委員会開催：8 回、セミナー開催：9 回)

(2) 容器包装リサイクル法に係る委託業務及び公害健康被害補償制度汚染負荷量賦課金徴収委託業務の実施

① 容器包装リサイクル法に係る委託業務 (平成 11 年 11 月 1 日受託)

(書類送付事業所数：164 社、委託申込受理件数：71 社)

② 公害健康被害補償制度汚染負荷量賦課金徴収委託業務 (昭和 49 年 9 月 1 日受託)

(受持事業所数：69 社)

(3) 省エネルギーセミナー等の開催による情報の提供

事業所における省エネルギー活動を支援するため、省エネルギー対策に関するセミナー及び視察見学会を実施した。 (セミナー開催：3 回、視察見学会：1 回)



【5 月 15 日・環境・エネルギー対策委員会】

重点施策5 異業種交流活動・産学官連携

(1) 香川大学、高松大学・高松短期大学等との連携協力

当所と高松大学・高松短期大学は、産業振興、街づくり、教育、文化等の分野において相互に協力し、地域社会の発展と人材の育成に寄与することを目的として連携協力に関する協定を締結している。

(2) インターンシップ受入れ事業の協力

香川大学、高松短期大学からのインターンシップ受入れ教育活動の一環として、学生に単位を与える特別講義「インターンシップ」自由科目を当所で研修・実習した。

(受入学生：6人)



【さぬきうどん体験道場 (さぬき麺業株)】



【ジョージナカシマ記念館 (榎桜製作所)】

(3) 高松5：30クラブの開催

四国経済産業局はじめ7団体持ち回りにより、地域を元気にする意欲に燃えた人が、仕事が終わったあと17時30分から思い思いに集まり、肩書き抜きでネットワークの輪を広げることができる場を開催した。

(開催回数：7回)



【7月10日・第101回高松5：30クラブ】

地域資源を最大限活用する産業と文化の創造

Ⅳ 取組方針Ⅱ：地域の活性化

重点施策1 魅力あふれる観光と地域資源を活かした地域産業の振興

関係機関と連携し、高松ならではの地域資源を活かした体験・交流型産業観光の開発やMICE誘致の促進を図るとともに、観光客へのおもてなし向上を図るため、地域の文化や歴史を学ぶ機会の創出に努めた。

(1) 地域の産業を活かしたニューツーリズムの創造

観光部会・交通運輸部会合同により、地方部交通・観光産業の新たな成長についての勉強会を開催するとともに、「香川の家具とぬりもの新作見本市」など伝統技術の継承及び物産展等の支援を行った。(イベント出席：4回、後援：3件)



【5月26日・観光部会・交通運輸部会合同勉強会】

(2) 観光・まつり・文化の振興

「さぬき高松まつり」をはじめとするまつりの支援、高松観光コンベンション・ビューロー事業の支援並びに第4回高松国際ピアノコンクール及び地域密着型スポーツの振興の協力等を行うとともに、「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産暫定一覧表記載についての要望活動を行った。また、観光客受入に必要な知識やおもてなし力の向上を図るために、新たに「高松新歴史めぐり見学会」**新規**を開催した。



【8月14日・第52回高松まつり総おどり参加】



【8月13日・サンセットビアガーデン in サンポート】



(3) 観光客等の誘致・受入環境の整備

栗林公園・屋島等観光資源の活性化と観光地づくりの促進に努めるとともに、四国内観光の振興についての要望活動を行った。



【6月20日・四国商工会議所連合会総会にて要望決議】

【重点施策1：魅力あふれる観光と地域資源を活かした地域産業の振興 成果指標】

指標名	指標の概要	現状値		目標値
		(27年度)	(29年度)	(33年度)
産業観光受入事業所実績数	高松の地場産業を活かした体験・交流型産業観光における観光客受入れ事業所数	16件	16件	20件

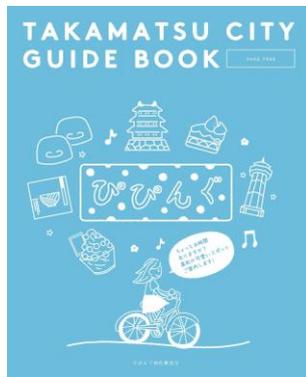
重点施策2 中心市街地・商店街の活性化

商店街全体の活性化を図るため、回遊性をもたらすイベントの実施、中心市街地全体を網羅した観光マップの作成を行うとともに、次世代を担うリーダーの育成に努めた。

(1) 中心市街地活性化に関する事業の総合調整や事業の推進 **新規**

高松市中心市街地活性化協議会において、地域における社会的・経済的及び文化的活動の根拠となるにふさわしい魅力ある市街地の形成を図るため、その実施に必要な事項に係る協議を行った。また、高松中央商店街及び周辺の商店会が実施するイベント事業に協力するとともに、中央商店街通行量調査及び空き店舗調査を実施した。

さらに、本年度の新規事業として高松中央商店街8カ町等と連携し、回遊性をもたらすイベントを検討するとともに、高松市中心市街地観光マップを作成した。



【高松商工会議所と高松大学の学生が作成した観光マップ】

(2) 次世代のリーダー育成 **新規**

新規事業として、当所地区内の経営者や後継者等を対象に、まちづくりリーダーとなるための気づきを与えるセミナーを開催した。(セミナー開催：3回)

【重点施策2：中心市街地・商店街の活性化 成果指標】

指標名	指標の概要	現状値		目標値 (33年度)
		(27年度)	(29年度)	
中央商店街の空き店舗率(※1)	高松中央商店街店舗立地動向調査(空き店舗調査)における全フロアの空き店舗率	17.0%	17.7%	14.2%
中央商店街の通行量(※2)	高松中央商店街通行量調査における通行量 (対象者：中学生以上の男女)	121,562人	115,232人	150,000人
中央商店街連携イベント数	商店街全体の回遊促進を目的として実施したイベント数	0回	1回	3回

(※1) 調査は6月および12月に実施。

(※2) 調査は5月および10月に実施。

重点施策 3 地域社会におけるリーダーシップの発揮

県や市、国等に対して積極的な提言・要望活動を行うとともに、広く一般にも当所の活動を理解してもらうため、メディアを通じた広報の強化を行い、地域社会でのプレゼンスを高めるよう努めた。

(1) 政策提言活動の強化

会員及び地域の意見・情報の把握に努め、①広域交流拠点性の強化、②災害に対する安心・安全の確保、③安全・快適で人と環境にやさしい都市交通の形成、④中小・小規模企業活力強化の推進、⑤地方創生及び人口減少への対応、及び⑥規制・制度改革の推進等について、積極的に政策提言活動を行った。

(2) 行政との緊密な関係の構築

行政トップ等との懇談会を開催し、産業政策や街づくり、道路や港湾、空港等のインフラ整備等について定期的に意見交換を行うことにより、地域経済の実態や地域の課題の共有を図るとともに、商工会議所が果たす役割や事業活動について積極的にアピールを行った。

① 高松市長と高松商工会議所との懇談会

11月30日に本懇談会を開催した。高松市からは、大西市長はじめ副市長、幹部職員が、当所からは渡邊会頭をはじめ副会頭、専務理事、常務理事が出席し、「中小企業の事業承継」、「屋島の活性化」の2つのテーマについて意見交換を行った。



【11月30日・高松市長と高松商工会議所との懇談会】

② 香川県知事と香川県商工会議所連合会との懇談会

平成30年2月13日に本懇談会を開催し、香川県商工会議所連合会からは、県下6商工会議所の会頭と専務理事、香川県からは、浜田知事はじめ政策部、商工労働部、交流促進部の各部長が出席した。各会頭から各地域の景況や取組みについて説明の後、浜田県知事からコメントがあった。



【2月13日・香川県知事と香川県商工会議所連合会との懇談会】

(3) 地域社会におけるプレゼンスの強化

商工会議所の事業活動について、会員だけでなく一般の市民にも幅広く理解してもらうため、メディアへの露出を高めるなど、メディアを通じた広報の強化を行い、地域社会におけるプレゼンスに努めた。

(4) 広報活動の充実

当所ホームページ・SNS等の発信、会報「インフォメーションたかまつ」（毎月5,200部）及び冊子「あ・ら・か・る・と」2,000部等の発行により、事業活動や地域情報の広報活動を行った。

高松商工会議所会報
Information TAKAMATSU

第161回 通常議員総会を開催 行動計画・平成29年度事業計画決定／表彰式
行動計画 ～挑戦・改革・成長～/平成29年度事業計画のあらまし



2017
4
April
No.687

あ・ら・か・る・と

1
ビジネスチャンスをつかむ

- ◎会員企業集客 ◎女性会
- ◎商展部 ◎ザ・ビジネスモール
- ◎ビジネスマッチング
- ◎フレキシブルサポートサービス
- ◎ホームページ制作・広告掲載サービス
- ◎情報誌編集・広域ネットサービス
- ◎国際化の推進

P1~2

お手伝い致します!

2
人材を育てる・増強する

- ◎セミナー・講習会
- ◎研修施設
- ◎かわらけフェア（企業説明会開催施設）
- ◎シニアカー修理
- ◎県内各地中小企業 小規模事業者 人材確保支援等事業
- ◎県庁内職員の啓蒙

P3~4

4
“もしも”に備える

- ◎生命保険相談
- ◎特定退職金相談
- ◎少額企業役員
- ◎経営セーフティ相談
- ◎その他の相談支援

P7~8

3
スムーズな経営をめざして

- ◎経営相談
- ◎新規開業指導 新規創業相談窓口
- ◎金融支援サービス
- ◎メンバーズビジネスローン
- ◎リースプランニング!

P5~6

5
いろいろなサービス

- ◎貸会議室
- ◎労働保険代行代行
- ◎役員サービス事業
- ◎弁護士・公認会計士事業
- ◎その他のサービス

P9~10

6
高松商工会議所への入会について

P10

高松の企業と地域を元気にしたい「企業と市民の架け橋」
高松商工会議所

(5) 商工業に関する各種調査の実施

LOBO調査（早期景気観測調査）、業種別業界景気動向調査及び中小企業景況調査等を実施し、調査結果を四国新聞社はじめメディアに公表した。

調 査 名	実施期間
(1) 日本商工会議所早期景気観測システムに関する資料調査	毎月
(2) 業種別業界景気動向調査	6月・9月・11月・平成30年3月
(3) 中小企業景況調査	6月・9月・11月・平成30年3月
(4) 新入社員アンケート調査	平成30年3月

【 重点施策3：地域社会におけるリーダーシップの発揮 成果指標 】

指標名	指標の概要	現状値		目標値 (33年度)
		(27年度)	(29年度)	
メディア掲載件数	商工会議所の取組みが新聞やテレビ等のメディアに取り上げられた件数（延件数）	一件/年	47件/年	50件/年

重点施策4 国際化の推進

グローバル化の進展、東アジアの経済成長の中で、中小企業における海外提携、貿易拡大などの海外戦略が重要となっていることから国際化を推進した。

(1) ジェトロはじめ関係機関との連携による海外投資・貿易セミナーの開催

ジェトロ香川、香川県との共催、中小企業対策委員会主管によりセミナーを開催した。
(セミナー開催：6回)

(2) 貿易に関する証明の発給

EPA（経済連携協定）に基づく特定原産地証明はじめ原産地証明、インボイス証明、サイン証明等の発給を行った。(特定原産地証明：745件、原産地証明等：697件)

(3) 海外姉妹都市等との経済・文化交流の促進

高松市と中国基隆市との交流協定、2017日台観光サミット in 四国及び台湾商談会の開催への協力を行った。

(4) 国際経済事情（経済連携協定を含む）の調査研究及び情報提供

ジェトロ香川等と連携して情報提供を行った。

重点施策5 関係団体等との連携協力、広域連携の推進

(1) 日本商工会議所、四国商工会議所連合会及び香川県商工会議所連合との連携協力

①日本商工会議所

渡邊会頭が副会頭として、エネルギー・環境委員会の委員長、常議員、議員会議所であり、全委員会の委員。高島専務理事が代表専務理事会議の構成員である。

諸会議、諸行事に出席、参加するとともに、業務上の連絡も極めて円滑、緊密に行った。

②四国商工会議所連合会

渡邊会頭が会長であり、高島専務理事が常任幹事である。

円滑な連携を保ちつつ諸事業を遂行した。

◆四国商工会議所連合会と四国地方整備局との意見交換会

平成30年2月6日に本意見交換会を開催し、四国商工会議所連合会からは渡



邊会長はじめ8人、四国地方整備局からは平井四国地方整備局長はじめ9人が出席した。はじめに、四国地方整備局より事業概要や防災・減災の取り組み、インフラ整備状況等について説明があり、続いて四国各県商工会議所連合会より各地商工会議所の取り組みや地域の景況感、インフラ整備に関する効果や期待などについて説明を行い、その後、意見交換を行った。

【平成30年2月6日・四国地方整備局と四国商工会議所連合会との意見交換会】

③香川県商工会議所連合会

渡邊会頭が会長であり、高島専務理事が専務理事である。
円滑な連携を保ちつつ諸事業を遂行した。



【6月20日・香川県商工会議所連合会総会】

◆香川県商工会議所議員大会及び中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会

11月2日に「第42回香川県商工会議所議員大会」と「中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会（香川県中小企業団体中央会、香川県商工会連合会、香川県商店街振興組合連合会、香川県商工会議所連合会の4団体共催）」を開催した。

本集会では、「中小企業・小規模事業者の生産性向上と人材確保支援等の充実」を始め8件の要望事項を採択した。



【11月2日・香川県商工会議所議員大会並びに中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会】

◆香川県知事と香川県商工会議所連合会との懇談会

平成30年2月13日に本懇談会を開催し、香川県商工会議所連合会からは、県下6商工会議所の会頭と専務理事、香川県からは浜田知事はじめ政策部、商工労働部、交流促進部の各部長が出席した。各会頭から各地域の景況や取組みについて説明の後、浜田県知事からコメントがあった。

◆台湾経済団体との交流活動（香川県・台湾経済交流促進協議会）

平成 30 年 1 月 31 日から 2 月 3 日にかけて、香川県台湾商談会を台北世貿展覽館（台北市）にて開催し、香川県側からは 20 社（当所会員 8 社）、台湾側からは 58 社が参加した。

（2）関係団体、諸官庁との連携協力

当所は、（公社）香川県観光協会会員を始め、41 団体の会員である。

渡邊会頭、森田副会頭・中副会頭・平田副会頭・真鍋副会頭、高島専務理事、宮武常務理事・事務局長及び職員が四国経済産業局、県、市を始め関係機関並びに当所と目的を同じくする多くの関係団体の役員・委員などに就任し、緊密な連携を保ちつつ各種事業を実施した。

（関係団体等諸会議出席：151 回）



【11 月 29 日・日本銀行高松支店長と当所各部会との懇談会】

（3）徳島商工会議所との結婚活動（婚活）推進共同事業の実施

徳島商工会議所と当所が主催し、県域を越えた出会いの場を提供することを目的に、「讃岐男女に阿波男女 ちょっとおしゃれな大人の“婚活”」を栗林公園において開催し、9 組のカップルが誕生した。

（参加者：45 人）



【平成 30 年 2 月 10 日・讃岐男女に阿波男女～ちょっとおしゃれな大人の「婚活」】

V 取組方針Ⅲ： 会員サービスの充実と組織の強化

重点施策1 会員サービス事業の充実

会員の交流促進を図るとともに、会員事業所の情報発信、健康管理サポート、共済制度等の充実を図った。

(1) 会員交流・親睦の促進

① CCI 夏季会員交流会

7月25日、JRホテルクレメント高松において、153人参加のもと、CCI夏季会員交流会を開催した。



【7月25日・CCI夏季会員交流会】

② 第12回会員親睦ゴルフ大会

11月8日、高松グランドカントリークラブにおいて、45人参加のもと、第12回会員親睦ゴルフ大会を開催した。



【11月8日・第12回会員親睦ゴルフ大会】

③ 新春会員名刺交換会

平成30年1月9日、当所会館において毎年恒例の「新春会員名刺交換会」を開催し、会員など370人が参加した。参加者は、新年の挨拶を交わしながら今後の景気の見通し、業界の景況等について情報交換をした。



【平成 30 年 1 月 9 日・新春名刺交換会】

(2) 会員事業所の情報発信並びに収益力の向上

会員事業所の情報発信並びに収益力の向上を図るため多様な会員サービス事業を実施し、会員満足度を高めるよう努めた。

① 会員事業所従業員表彰、会員事業所表彰、模範会員事業所表彰及びチャレンジ会員事業所表彰等

◆ 表彰

(単位：人、事業所)

表彰名	表彰数	表彰日・会議名
会員事業所従業員表彰	37	7月25日：第162回通常議員総会
会員事業所表彰	20	平成30年 3月23日：第163回通常議員総会
模範会員事業所表彰	1	
チャレンジ会員事業所表彰	1	



【3月23日・第163回通常議員総会】

②会員割引・優待サービス「おもっしょい高松」・ホームページバナー広告及びチラシ同封サービスの利用推進等

(おもっしょい高松提携：20 事業所、ガイドブック作製：3,000 部)

(ホームページバナー広告掲載：5 事業所)



③ビジネスネットワーク（会報無料掲載）、プレスリリースサポートサービス及び会館展示スペースの無料レンタルの利用促進

(ビジネスネットワーク掲載：36 事業所)

(会館展示スペース利用：5 事業所)



【会館展示スペースの無料レンタル】

(3) 健康管理サポート

定期健康診断・生活習慣病健診・マンモ検診を実施した。

(受診者：47 事業所・116 人 (うち共済加入割引 49 人))

(4) コスト削減に寄与

会員事業所向けオートリース・レンタカーの普及推進、貸会議室及びパソコン教室の会員割引による利用促進を行うとともに、新規事業としてマル経融資利子補給制度を実施した。

(パソコン教室会員割引：3,270 回)

(5) 各種共済制度の推進

①共済制度

会員事業所における労働力の確保、従業員の定着化及び事業主、役員の福祉増進等を図るため商工業者の相互扶助の精神に基づいて共済制度の充実拡大に努めた。

共 済 制 度 名		加入事業所	加入者（人・件）	加入口数・台数
生 命 共 済		432	1,630	5,910
特 定 退 職 金 共 済		333	2,089	14,326
経 営 者 年 金 共 済		8	13	19
総 合 福 祉 共 済		9	11	
個 人 年 金 共 済		11	11	
終 身 保 障 共 済		35	38	
特 定 疾 病 保 障 共 済		1	1	
終 身 医 療 共 済		86	135	
せとうち総合補償共済		81	81	
集 団 扱 損 害 保 険		31	49	
火 災 共 済		4	5	
香川県商工会議所連合会扱い	団 体 扱 月 払 保 険	329	475	
	ビジネスJネクスト	19	19	
	まごころ共済 (自動車事故費用共済)	17	17	32
	西日本自動車共済	5	12	12
合 計		1,401	4,586	20,299

②保険制度

保険制度名	加入事業所・加入者	備 考
中小企業PL保険	153 件	中小企業向
全国商工会議所PL団体保険	2 件	中堅・大企業向
海外PL保険	5 件	海外輸出向け
休業補償プラン	151 人	
情報漏えい賠償責任保険	18 件	
業務災害補償プラン	696 件	
ビジネス総合保険	171 件	

③小規模企業共済・倒産防止共済

区 分	人 数 等
小 規 模 企 業 共 済	加入者数 1,207 人 (うち、当年度加入 90 人)
倒 産 防 止 共 済	加入者数 211 人 (うち、当年度加入 49 人)

(6) 共済還元事業の実施

生命共済・特定退職金共済等各種共済の加入事業所に対する共済還元事業である会員交流ツアー（参加者：77人）・ホテルランチパーティー（参加者：61人）・メンタルヘルス相談等を実施した。



【10月13日・特定退職金共済制度還元事業「ホテルランチパーティー」】



【11月11日・共済還元事業「会員交流ツアー」】

【重点施策1：会員サービス事業の充実 成果指標】

指標名	指標の概要	現状値		目標値 (33年度)
		(27年度)	(29年度)	
共済制度加入事業 所数	年度末における各種共 済制度加入事業所数	2,284件	2,541件	2,400件

重点施策2 運営基盤と財政基盤の強化

社会の変化や多様化・専門化する経営課題に対応できるよう職員の能力向上を図るとともに、各種事業を積極的に展開するため、自己財源の充実を図った。

(1) 既存会員の退会防止と新規会員の獲得

役員・議員及び職員が一致団結して会員増強に取り組んだ結果、会員数は前年度末の4,723人と比べ、79人増加し4,802人となった。

①年度別会員数の推移

(単位：人)

年度	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
入会	160	198	202	176	181	187	198	198	216	260
脱会	290	343	300	234	223	237	214	199	212	181
差引計	5,129	4,984	4,886	4,828	4,786	4,736	4,720	4,719	4,723	4,802

②組織別会員数

区分	前年度末現在 会員数	加入者数	脱退者数	組織変更数	年度末現在 会員数
個人	1,578 (127)	112	▲ 94	▲ 18	1,578 (133)
法人	3,022 (348)	148	▲ 85	18	3,103 (369)
団体	123 (11)	0	▲ 2	0	121 (11)
合計	4,723 (486)	260	▲ 181	0	4,802 (513)

③業種別会員数

区分	会員数	区分	会員数
鉱業・砕石業	1	専門・技術サービス業	404
建設業	758	飲食店・宿泊業	291
製造業	536	生活関連サービス業・娯楽業	303
電気・ガス業	5	教育・学習支援	95
情報通信業	86	医療・福祉	151
運輸業	205	複合サービス事業	16
卸売業・小売業	1,229	サービス業(他に分類されないもの)	320
金融・保険業	115	その他	10
不動産業・物品賃貸業	277	合計	4,802

④会費持口数

会員4,802人のうち、法人は3,224人で会費持口数は12,989口。個人は1,578人で会費持口数は1,799口となり、会費持口総数は14,788口となった。

(2) 職員の意識改革と能力の向上 新規

職員の主体性、モチベーションを高めるとともに、問題解決能力、政策形成能力の向上を図るため、職員が主体的に地域経済の課題等について調査・研究を実施し、研究の成果を新規事業の創出に結びつけた。

◆研究テーマ

多言語対応の中心市街地のデジタルマップ並びに多言語対応の体験型観光コースの紹介を兼ねたポータルサイトの作成に向けた調査研究

◆次年度以降に実施する具体的施策

- ①高松産業観光の推進
- ②高松盆栽体験受入施設の支援
- ③外国人観光客へのサービス向上に向けたおもてなし力向上事業の実施
- ④中央商店街の回遊性をもたらすイベント事業の推進
- ⑤高松市中心市街地観光マップ（多言語版）の作成

(3) 財政基盤の強化

既存事業の見直しを行い新たな収益の確保に努めるとともに、行政との懇談会等様々な機会を捉え、商工会議所の役割や取組みのアピールを行い、交付金や助成金の維持・拡充に努めた。

【 重点施策 2 : 運営基盤と財政基盤の強化 成果指標 】

指標名	指標の概要	現状値		目標値
		(27年度)	(29年度)	(33年度)
会員数	年度末における会員数	4,719人	4,802人	6,000人
既存事業の改善及び新規事業創出件数	職員政策研究が事業の改善、新規事業の創出に結びついた件数	一件	2件	10件

重点施策3 事務局体制の充実

- (1) 事務の合理化、効率化の推進及び情報の共有化
- (2) 特定個人情報等の適正な取扱いに関する基本方針及び個人情報保護コンプライアンス・プログラムの適切な運用
- (3) 職員の専門性及び来客対応の改善・向上
 職員の専門性向上のため、研修会等に出席した。 (出席者：9人)
- (4) 計画的な事務局体制の整備

①職員数

区分	専任職員	経営指導員	経営支援員	合計
男	13人	14人	0人	27人
女	10人	3人	7人	20人
計	23人	17人	7人	47人

②事務局機構

所掌事務の概要		職員数
・事務の統括		1人
総務部	総務担当 <ul style="list-style-type: none"> ・役員、議員（表彰を含む）に関する事項 ・議員選挙・選任に関する事項 ・定款、規約等に関する事項 ・会頭・副会頭会議、常議員会、議員総会、監事会等に関する事項 ・国際交流に関する事項 ・その他庶務全般に関する事項 	2
	企画・広報担当 <ul style="list-style-type: none"> ・事業計画及び事業報告の取りまとめに関する事項 ・会報及び広報に関する事項 ・香川県商工会議所連合会に関する事項 ・四国商工会議所連合会に関する事項 ・部会及び委員会に関する事項 ・建議・要望に関する事項 ・女性会に関する事項 	1
	財務担当 <ul style="list-style-type: none"> ・収支予算（執行管理を含む）及び収支決算に関する事項 ・会費、負担金等の収納に関する事項 ・所有財産、物品の管理に関する事項 ・その他経理全般に関する事項 	1

会 員 事 業 部	会 員 ・ 共 済 担 当	<ul style="list-style-type: none"> ・会員、特定商工業者及び法定台帳、電子商工名鑑に関する事項 ・各種共済・保険制度に関する事項 ・会員の交流・親睦事業及び福利厚生サービス事業に関する事項 ・会員事業所・従業員の表彰に関する事項 ・貿易関係等各種証明、登録に関する事項 ・容器包装リサイクル法に係る委託業務等の処理に関する事項 		3
	会 館 管 理 担 当	<ul style="list-style-type: none"> ・貸会議室に関する事項 ・会館・駐車場の管理に関する事項 		4
所	部	担当	所 掌 事 務 の 概 要	職員数
中 小 企 業 相 談 所	經 営 支 援 部		・事務の統括	1人
		經營相談担当	<ul style="list-style-type: none"> ・経営、税務等の各種相談・指導に関する事項 ・専門指導員に関する事項 ・記帳指導及び記帳代行に関する事項 ・講習会、講演会等に関する事項 ・経営の革新及び創業に関する事項 ・中小企業経営力向上支援に関する事項 ・経営安定特別相談に関する事項 ・専門分野別、業種別問題等に関する事項 ・青年部に関する事項 ・無料職業紹介に関する事項 ・事業引継ぎ支援に関する事項 	7
		中小企業再生支援担当	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援に関する事項 ・経営改善計画策定支援に関する事項 	1
		金融担当	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模事業者経営改善資金融資に関する事項 ・その他融資制度の相談・指導及び斡旋に関する事項 	1
		情報化推進担当	<ul style="list-style-type: none"> ・地域情報化に関する事項 ・ホームページ、内部情報システムの管理及び改善に関する事項 	1
	環境対策担当	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・エネルギー対策に関する事項 	1	
	産 業 振 興 部	産業振興担当	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地・商店街の活性化に関する事項 ・観光・コンベンション、まつり等に関する事項 ・産官学連携、見本市の開催に関する事項 ・地域産業の振興に関する事項 ・異業種交流に関する事項 ・大規模小売店舗出店対策に関する事項 ・各種調査に関する事項 ・共催、後援、協賛に関する事項 	9
		検定担当	<ul style="list-style-type: none"> ・各種検定試験の施行等に関する事項 	2
		労働・人材対策担当	<ul style="list-style-type: none"> ・労働保険及び雇用・人材対策に関する事項 ・ジョブ・カード制度に関する事項 	4

局等	担当	所掌事務の概要	職員数
香川県中小企業再生支援協議会事務局	中小企業再生支援担当	・中小企業再生支援に関する事項	1人
香川県経営改善支援センター		・中小企業者の経営改善、事業再生に関する事項	1
香川県事業引継ぎ支援センター		・中小企業者の事業引継ぎに関する事項	1
香川県地域ジョブ・カードセンター		・地域ジョブ・カードに関する事項	5
エコアクション21地域事務局高松		・エコアクション21認証・登録制度に関する事項	

(※派遣・出向職員を含む)

③受託事務の概要 (9件)

名 称	受 託 年 月 日
四国商工会議所連合会	昭和 34 年 7 月 29 日
高松市商店連盟	昭和 35 年 11 月 15 日
香川県商工会議所連合会	昭和 37 年 5 月 29 日
香川県観光土産品公正取引協議会	昭和 44 年 9 月 9 日
高松中央商店街振興組合連合会	昭和 48 年 9 月 28 日
高松地区労働保険事務組合連合会	昭和 59 年 4 月 1 日
日本珠算連盟香川県連合会	昭和 60 年 6 月 1 日
香川県商工会議所女性会連合会	昭和 61 年 10 月 7 日
四国商工会議所女性会連合会	平成 10 年 9 月 2 日



重点施策 4 会議所会館の管理運営

(1) 会館施設の利便性向上

① 建物概要

名 称	高松商工会議所会館 (竣工 平成3年2月28日)
所 在 地	高松市番町二丁目2番2号
敷地面積	1,788.88 m ²
建築面積	1,310.95 m ²
延床面積	5,746.33 m ²
構 造	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨造)
階 数	地上6階、地下1階
駐車場収容台数	43台



② 定期貸室

5 階	(独)日本貿易振興機構香川貿易情報センター、香川県経営者協会 高松青色申告会、香川県事業引継ぎ支援センター
4 階	香川県地域ジョブ・カードセンター
3 階	香川県中小企業再生支援協議会、香川県経営改善支援センター
1 階	(公財)教育資金融資保証基金高松業務センター セルフカフェCCI… (当所が運営管理)

(2) 会議室の利用促進

会議室等の利用状況は、利用回数は1,489回、利用者数は54,360人である。

室 名	面 積	利用回数	利用人数
大 ホ ール	470.33 m ²	123回	20,792人
201会議室	116.50 m ²	240回	8,398人
202会議室	70.76 m ²	237回	3,761人
配 膳 室	31.19 m ²	15回	—
401会議室	216.80 m ²	134回	4,736人
402会議室	70.36 m ²	255回	4,050人
403会議室	57.95 m ²	289回	2,449人
501会議室	152.39 m ²	196回	10,174人
合 計	1,186.28 m ²	1,489回	54,360人

重点施策 5 特定商工業者法定台帳作成、管理及び運用

特定商工業者法定台帳は、商工会議所法第 10 条第 1 項及び同法施行令第 1 条に定める法定登録事項（氏名または名称及び住所、法人については代表者の氏名及び資本金額または払込済出資総額等）のほか、特に必要な諸事項を加えて（※）地区内商工業者の実態を明確に把握することを主眼に作成し、その定期訂正、管理及び運用を行った。

（※）地区内：由良町、川島本町、川島東町、小村町、亀田南町、十川西町、十川東町、池田町、東植田町、西植田町、菅沢町並びに塩江町、牟礼町、庵治町、香川町、香南町及び国分寺町を除く高松市

（1）特定商工業者数

特定商工業者数は前年度と比べ、54 人減少し、3,887 人となった。

◆組織別特定商工業者数

（単位：事業所）

区 分	特定商工業者数	内 訳	
		会 員 数	非会員数
個 人	4 (3)	4 (3)	0 (0)
法 人	3,883 (2,622)	2,369 (2,012)	1,514 (610)
合 計	3,887 (2,625)	2,373 (2,015)	1,514 (610)

（注）（ ）内の数字は、負担金納入者を示す。

（2）定期訂正及び負担金賦課

平成 29 年 4 月 1 日現在の特定商工業者に対し、商工業者法定台帳資料調査表を送付し、その回答を求め、平成 29 年度法定台帳の作成及び定期訂正を終了した。また、法定台帳の作成、管理及び運用経費の一部として平成 29 年度負担金 2,000 円を賦課した。

VI 意見活動

会員及び地域の意見・情報の把握に努め、商工業等産業の振興発展、都市機能及び交通基盤の整備等の地域振興並びに税制改革及び中小企業対策・小規模事業者等経営支援などの当面する諸課題について、次のとおり積極的に建議・要望活動を行った。

※ () 内の日付は提出日・提出順

1. 四国新幹線整備促進に向けた東京決起大会で決議された要望

(平成 29 年 7 月 6 日)

- ◆四国の新幹線の整備計画格上げに向けた調査に関する平成 30 年度予算措置及び「地方創生回廊」の実現のための新幹線建設予算の大幅増額について



【四国新幹線整備促進に向けた東京決起大会】

2. 四国商工会議所連合会定時総会で決議された要望 (平成 29 年 7 月 25 日)

- ①南海トラフ地震対策の推進について
- ②景気対策並びに中小企業等の活力強化について
- ③陸海空におけるインフラ整備の推進について
- ④四国の新幹線導入について
- ⑤四国地域の観光振興について
- ⑥「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産暫定一覧表記載について
- ⑦少子化・人口減少対策の推進について
- ⑧伊方原子力発電所の安全・安定運転について



【6月20日・四国商工会議所連合会定時総会】

3. 香川県商工会議所連合会定時総会で決議された要望（平成 29 年 7 月 25 日）

- ・ 中小企業への金融支援策の拡充や労働力の確保など中小企業の活力強化に向けた取り組み、四国新幹線導入や四国八十八箇所霊場と遍路道の世界遺産登録に向けた取り組みについて



【6月20日・香川県商工会議所連合会定時総会】

4. 明日の地域づくりを考える四国会議で決議された提言

（平成 29 年 9 月 28 日）

- ① 四国創生の基盤となるインフラ等の整備・拡充
- ② 地方創生に向けた産業活性化と労働力不足の緩和、人材の育成・定着
- ③ 少子化・人口減少対策の強力な推進
- ④ 地方の声の反映と東京一極集中の是正

5. 平成 30 年度税制改正に関する要望

（平成 29 年 11 月 1 日）

諸外国並みの事業承継税制の実現に向け、納税猶予ではなく、5年間事業継続後の納税免除制度の実現等について

6. 香川県商工会議所議員大会並びに中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会で採択した要望

（平成 29 年 11 月 2 日）

- ① 中小企業の生産性向上と人材確保支援等の充実
- ② 地域活性化を実現するための地域潜在力の強化
- ③ 東日本大震災の本格復興と福島への復旧・復興への支援継続、熊本地震と平成 29 年 7 月九州北部豪雨からの復旧・復興
- ④ 四国の少子化・人口減少対策の推進
- ⑤ 南海トラフ地震等大規模災害に対する防災・減災対策の推進
- ⑥ 四国の新幹線導入に向けた取り組みの促進

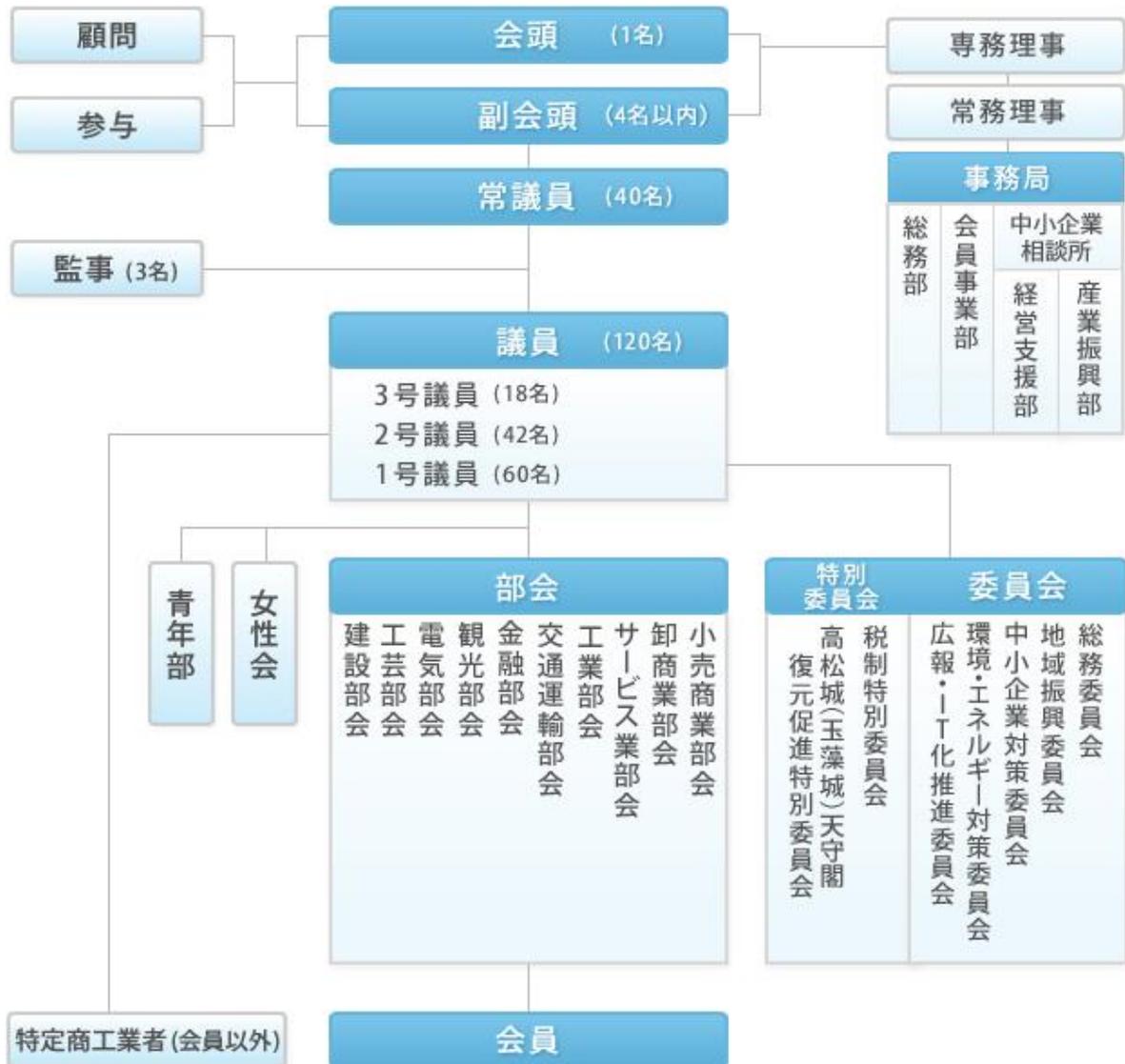
- ⑦坂出北インターチェンジのフルインター化事業の早期完成
- ⑧「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産暫定一覧表記載



【11月2日・中小企業・小規模事業者活力強化香川県集会】

Ⅶ 組織等の状況

1. 組織図



2. 役員・議員等

(1) 役員

会 頭		
渡 邊 智 樹	(株)百十四銀行	代表取締役会長
副 会 頭		
森 田 紘 一	(株)合田工務店	代表取締役社長
中 博 史	中商事(株)	会長
平 田 喜一郎	(株)ヒューテック	相談役
真 鍋 洋 子	アイル・パートナーズ(株)	代表取締役会長

専務理事

高 畠 正 博	高松商工会議所
---------	---------

常 議 員

家 高 順 一	(株)四電工	取締役社長
泉 雅 文	四国旅客鉄道(株)	取締役会長
岩 佐 武 彦	(株)岩佐佛喜堂	代表取締役
加 藤 宏一郎	(株)瀬戸内海放送	代表取締役社長
鴨 田 尚 樹	四国トラステック(株)	代表取締役社長
木 村 構 作	四国警備保障(株)	代表取締役社長
木 村 信 行	四国機器(株)	代表取締役社長
国 東 照 正	香川県信用組合	会長
河 野 伸 之	サンコー(株)	代表取締役社長
近 藤 明 生	(株)JR 四国ホテルズ	代表取締役社長
齊 藤 良 紀	高松青果(株)	代表取締役
鈴 木 雅 登	三喜工事(株)	代表取締役副社長
高 木 満津雄	高木綱業(株)	取締役会長
田 村 孝 治	田村ボーリング(株)	代表取締役
田 村 日出男	(株)宗家くつわ堂	代表取締役相談役
千切谷 多一郎	(株)ちきりや	取締役相談役
中 條 博 之	香川証券(株)	代表取締役社長
辻 村 武	(株)高松三越	代表取締役社長
津 村 潤 治	三彩商事(株)	代表取締役
遠 山 誠 司	(株)香川銀行	取締役会長
徳 永 孝 明	(株)二蝶	取締役会長
中 村 卓 朗	西日本放送(株)	代表取締役社長
中 山 康 治	アオイ電子(株)	取締役社長
橋 倉 莊 六	(株)タダノ	執行役員常務
蓮 井 明 博	高松信用金庫	理事長
樋 口 高 良	太洋木材(株)	代表取締役社長
福 壽 芳 久	四電ビジネス(株)	代表取締役社長
福 家 輝	(株)四国新聞社	取締役COO
古 竹 孝 一	日新タクシー(株)	代表取締役会長
榎 田 實	(株)マキタ	代表取締役会長
間 島 賢 治	(株)オリコ	代表取締役社長
松 村 英 幹	高松商運(株)	代表取締役社長
丸 山 徹	南海プライウッド(株)	代表取締役社長
三 矢 昌 洋	(株)喜代美山荘	代表取締役会長
三 宅 康 夫	(株)中央建物	代表取締役社長
宮 本 敏 樹	四国電力(株)高松支店	執行役員高松支店長
宮 本 吉 朗	(株)アムロン	代表取締役会長

牟禮昌忠	(株)ムレコミュニケーションズ	代表取締役社長
森川和彦	(株)フソウ	四国支店長
山田英之	高松臨港倉庫(株)	代表取締役

監 事

岩村浩司	(税)二見・岩村会計事務所	代表社員
大久保直温	(株)総合開発	取締役会長
細溪英一	池田屋(有)	代表取締役

常務理事・事務局長

宮武寛	高松商工会議所
-----	---------

(2) 議 員

1号議員	葵機工(株)	代表取締役専務	大西昭
〃	(学)穴吹学園	専務理事本部長	大平康喜
〃	穴吹興産(株)	代表取締役社長	穴吹忠嗣
〃	(株)アムロン	代表取締役会長	宮本吉朗
〃	(株)伊賀モータース	代表取締役	伊賀知由
〃	生駒学税理士事務所	所長	生駒学
〃	(株)イズミゆめタウン高松	支配人	小島隆一
〃	(株)STNet	専務取締役	和泉光敏
〃	(有)大川原染色本舗	代表取締役	大川原誠人
〃	香川県魚市場(株)	代表取締役	山本啓之
〃	香川県漆器工業(協)	理事長	佐々木敏晴
〃	香川日産自動車(株)	代表取締役会長	真鍋健彦
〃	(株)カンノ	代表取締役	齋藤光良
〃	(株)北四国産業	代表取締役	岡伸二
〃	香東電機(株)	代表取締役	石原一司
〃	高分子工材(株)	代表取締役	松川生司
〃	(株)幸耀	取締役管理本部長	徳永保幸
〃	(株)コヤマ・システム	代表取締役	小山敏則
〃	さぬき麺業(株)	代表取締役社長	香川政明
〃	三電計装(株)	代表取締役	和田成登
〃	(有)三友堂	代表取締役会長	大内泰雄
〃	(株)JR四国ホテルズ	代表取締役社長	近藤明生
〃	四国岩谷産業(株)	代表取締役社長	眞部晴夫
〃	四国キヨスク(株)	代表取締役社長	亀山佳典
〃	四国興業(株)	代表取締役社長	矢野年紀
〃	四国石油(株)	代表取締役社長	国東宣之
〃	四国マホービン(株)	代表取締役社長	上村光男
〃	高松青果(株)	代表取締役	齊藤良紀

〃	高松帝酸(株)	取締役執行役員技術本部長	太田 貴也	
〃	(株)タムラ印刷	代表取締役	田村 耕二	
〃	(株)中央印刷所	代表取締役	林 則男	
〃	東新電機(株)	代表取締役会長	東 秀憲	
〃	大豊産業(株)	代表取締役	乾 篤之	
〃	東洋テックス(株)	代表取締役社長	松原 哲裕	
〃	(株)中野屋 高松	取締役会長	中野 吉貫	
〃	西日本ビル管理(株)	代表取締役	小原 康弘	
〃	西野金陵(株)	代表取締役副会長	西野 信也	
〃	(株)二蝶	取締役会長	徳永 孝明	
〃	(株)日鋼サッシュ製作所	代表取締役社長	前田 恭典	
〃	(協)日専連高松	事務局長	玉川 和秀	
〃	日本通運(株)四国支店	常務理事四国支店長	山田 雅之	
〃	ネットヨタ高松(株)	代表取締役	朝倉 一	
〃	(株)久本酒店	代表取締役	佐藤 哲也	
〃	(株)百十四ディーシカート	代表取締役	安藤 陽徳	
〃	百十四リース(株)	代表取締役社長	飯田 憲明	
〃	(株)フレイン	代表取締役社長	三日月 善夫	
〃	丸亀町グリーン(株)	代表取締役	植村 博	
〃	(株)丸新果物商店	代表取締役	野沢 道雄	
〃	(株)マルナカ	取締役相談役	中山 明憲	
〃	丸八商工(株)	代表取締役	八田 憲明	
〃	三菱電機ビルテクノサービス(株)香川支店	支店長	中西 伸和	
〃	(株)ミヤプロ	代表取締役社長	宮寄 佳昭	
〃	(株)村岡鉄工所	代表取締役	村岡 一則	
〃	大和スレート(株)	代表取締役会長	浅田 勇夫	
〃	(株)ユメックス	代表取締役	宮内 和彦	
〃	四電エナジーサービス(株)	代表取締役社長	高橋 克己	
〃	四電エンジニアリング(株)	取締役社長	谷川 進	
〃	(福)らく楽福社会	理事長	佐藤 義則	
〃	(株)リソーシズ	代表取締役	沖川 学	
〃	(株)ルーヴ	代表取締役	藤井 二郎	
2号議員	アオイ電子(株)	取締役社長	中山 康治	(工)
〃	(株)糸しょう	代表取締役	谷本 俊男	(小)
〃	(株)岩佐佛喜堂	代表取締役	岩佐 武彦	(小)
〃	ヴァーナル・せとうち(株)	代表取締役	小出 克元	(卸)
〃	(株)エスビーエフ	代表取締役社長	小島 保紀	(工)
〃	小野(株)	代表取締役社長	小野 兼資	(卸)
〃	オリーブ美家工業(株)	代表取締役	田中 利寿	(サ)

〃	(株)オリコ	代表取締役社長	間島賢治	(サ)
〃	香川県信用組合	会長	国東照正	(金)
〃	香川証券(株)	代表取締役社長	中條博之	(金)
〃	香川トヨタ自動車(株)	代表取締役社長	灘波順一	(小)
〃	(株)川六	代表取締役	寶田圭一	(観)
〃	(株)喜代美山荘	代表取締役会長	三矢昌洋	(観)
〃	(株)ケーブルメディア四国	取締役社長	藤綱郁夫	(サ)
〃	小竹興業(株)	代表取締役社長	小竹和夫	(建)
〃	(株)寿や貸衣裳	代表取締役会長	谷森勉	(サ)
〃	(株)桜製作所	代表取締役社長	永見宏介	(芸)
〃	三喜工事(株)	代表取締役副社長	鈴木雅登	(電)
〃	サンコー(株)	代表取締役社長	河野伸之	(卸)
〃	三彩商事(株)	代表取締役	津村潤治	(小)
〃	四国ガス(株)高松支店	取締役執行役員高松支店長	阿部亮一	(工)
〃	四国警備保障(株)	代表取締役社長	木村構作	(サ)
〃	四国航空(株)	代表取締役社長	片岡佳英	(交)
〃	四国トラステック(株)	代表取締役社長	鴨田尚樹	(卸)
〃	セーラー広告(株)	代表取締役社長	村上義憲	(サ)
〃	(株)宗家くつわ堂	代表取締役相談役	田村日出男	(小)
〃	大一電気工業(株)	代表取締役会長	長瀬範昭	(電)
〃	太洋木材(株)	代表取締役社長	樋口高良	(工)
〃	高松臨港倉庫(株)	代表取締役	山田英之	(交)
〃	谷口建設興業(株)	代表取締役	谷口邦彦	(建)
〃	田村ボーリング(株)	代表取締役	田村孝治	(建)
〃	(株)ちきりや	取締役相談役	千切谷多一朗	(小)
〃	西日本電信電話(株)香川支店	支店長	西川宏幸	(サ)
〃	西松建設(株)四国支店	支店長	川崎邦彦	(建)
〃	西村ジョイ(株)	会長	西村泰昌	(小)
〃	日新タクシー(株)	代表取締役会長	古竹孝一	(交)
〃	(株)浜崎	代表取締役社主	豊田章二	(建)
〃	百十四ビジネスサービス(株)	代表取締役社長	入江澄	(サ)
〃	(株)フソウ	四国支店長	森川和彦	(建)
〃	三井生命保険(株)高松支社	高松支社長	柴田直樹	(金)
〃	(株)ムレコミュニケーションズ	代表取締役社長	牟禮昌忠	(工)
〃	(株)メガネのタナカヤ	代表取締役	川畑里佳	(小)
3号議員	朝日スチール工業(株)	代表取締役社長	中山保博	
〃	(株)香川銀行	取締役会長	遠山誠司	
〃	四国機器(株)	代表取締役社長	木村信行	
〃	(株)四国新聞社	取締役COO	福家輝	

〃	四国電力(株)高松支店	執行役員高松支店長	宮本敏樹
〃	四国旅客鉄道(株)	取締役会長	泉雅文
〃	(株)瀬戸内海放送	代表取締役社長	加藤宏一郎
〃	高木綱業(株)	取締役会長	高木満津雄
〃	高松商運(株)	代表取締役社長	松村英幹
〃	高松信用金庫	理事長	蓮井明博
〃	(株)高松三越	代表取締役社長	辻村武
〃	(株)タダノ	執行役員常務	橋倉荘六
〃	(株)中央建物	代表取締役社長	三宅康夫
〃	南海プライウッド(株)	代表取締役社長	丸山徹
〃	西日本放送(株)	代表取締役社長	中村卓朗
〃	(株)マキタ	代表取締役会長	榎田實
〃	(株)四電工	取締役社長	家高順一
〃	四電ビジネス(株)	代表取締役社長	福壽芳久

(備考) 2号議員中、()内は所属部会名を示す。

(3) 顧問・参与

顧問	浜田恵造	香川県知事
顧問	大西秀人	高松市長
顧問	正木一博	日本銀行高松支店長
参与	原真志	香川大学大学院地域マネジメント研究科長
参与	佐藤忍	香川大学経済学部長
参与	安藤照文	香川県商工労働部長
参与	宮崎達朗	香川県商工労働部経営支援課長
参与	土岐敦史	高松市創造都市推進局長
参与	橋本良治	高松市創造都市推進局産業経済部長産業振興課長事務取扱

(4) 会議の開催状況

①議員総会

議員総会は、次のとおり2回開催した。

◆第162回通常議員総会(第517回常議員会と合同)

平成29年7月25日

◆第163回通常議員総会(第521回常議員会と合同)

平成30年3月23日



【第163回通常議員総会】

【第521回常議員会】

②会頭・副会頭会議

会頭・副会頭会議は、常議員会の直前に7回、その他1回開催した。

③常議員会

常議員会は、次のとおり7回開催した。

◆第515回常議員会 平成29年4月26日

- ◆第 516 回常議員会 平成 29 年 6 月 26 日
- ◆第 517 回常議員会 (第 162 回通常議員総会と合同) 平成 29 年 7 月 25 日
- ◆第 518 回常議員会 平成 29 年 9 月 26 日
- ◆第 519 回常議員会 平成 29 年 11 月 22 日
- ◆第 520 回常議員会 平成 30 年 2 月 21 日
- ◆第 521 回常議員会 (第 163 回通常議員総会と合同) 平成 30 年 3 月 23 日

④監事会

監事会は、平成 29 年 7 月 4 日に開催した。

(5) 役員・議員の表彰・受章(賞)

表彰名	表彰数	表彰日・会議名
退任役員・議員表彰	4	7月25日：第162回通常議員総会
退任役員表彰	1	9月26日：第518回常議員会
叙勲・褒章	2	11月2日・3日
香川県知事表彰	1	5月1日
高松市市政功労表彰	5	平成30年2月15日

3. 部 会

会員は営んでいる主要な事業に係る部会に所属することになっており、会議、視察見学会などを含め 25 回開催した。

部 会 名	会員数	開催回数	部 会 長
小売商業部会	830	2	千切谷多一郎 (株)ちきりや 取締役相談役
卸商業部会	358	1	齊藤 良紀 高松青果(株) 代表取締役
サービス業部会	1,543	2	間島 賢治 (株)オリコ 代表取締役社長
工業部会	350	1	榎田 實 (株)マキタ 代表取締役会長
交通運輸部会	176	5	松村 英幹 高松商運(株) 代表取締役社長
金融部会	102	3	遠山 誠司 (株)香川銀行 取締役会長
観光部会	60	3	三矢 昌洋 (株)喜代美山荘 代表取締役会長
電気部会	118	2	家高 順一 (株)四電工 取締役社長
工芸部会	55	2	佐々木敏晴 香川県漆器工業(協) 理事長
建設部会	697	4	豊田 章二 (株)浜崎 代表取締役社主
合 計	4,289	25	(合同セミナー等は主管の部会・委員会に集計)



【5月26日・観光部会・交通運輸部会合同勉強会】



【10月13・14日・建設部会主管熊本視察見学会】

4. 委員会

委員会は調査研究のための会議や視察見学会など17回開催した。

(委員数の単位：人)

委員会名	委員数	開催回数	委員長
総務委員会	20	5	間島 賢治 (株)オリコ 代表取締役社長
地域振興委員会	76	3	岩佐 武彦 (株)岩佐佛喜堂 代表取締役
中小企業対策委員会	34	1	高木満津雄 高木綱業(株) 取締役会長
環境・エネルギー対策委員会	27	3	宮本 敏樹 四国電力(株)高松支店 執行役員高松支店長
広報・IT化推進委員会	20	1	宮本 吉朗 (株)アムロン 代表取締役会長
税制特別委員会	16	1	岩村 浩司 (税)二見・岩村会計事務所 代表社員
高松城(玉藻城)天守閣復元促進特別委員会	20	3	徳永 孝明 (株)二蝶 取締役会長
合計	213	17	(合同セミナー等は主管の委員会・部会に集計)



【5月16日・高松城(玉藻城)天守閣復元促進特別委員会主管講演会】



【7月14日・SNS活用セミナー】



【平成 30 年 2 月 22 日・平成 30 年度税制等に関する説明会】

5. 正副部会長・正副委員長懇談会

正副部会長・正副委員長懇談会は、平成 29 年度からの行動計画および平成 29 年度の事業計画の策定にあたり、意見・要望を伺うため、平成 30 年 2 月 7 日に開催した。



【平成 30 年 2 月 7 日・正副部会長・正副委員長懇談会】

6. 青年部（会員数：61人）

（1）主たる事業

平成29年度は、「Mission Passion Action ～地域で必要とされるリーダー集団をめざして～」をスローガンに、「地域のリーダー」をつくる、「仲間」の輪を広げる、他商工会議所青年部や他団体との連携をすることで「チャンス」をつくる、の3テーマを掲げて事業を展開した。

事業委員会では、第52回さぬき高松まつりの協賛事業として「サンセットビアガーデン in サンポート」を企画・実施した。

（2）会議の開催

会議は、定時総会1回、臨時総会2回、監事会1回、正副会長会議1回、理事会12回、例会3回、総務委員会6回、事業委員会9回、研修委員会3回を開催した。



【4月18日・4月例会】



【6月21日・定時総会】



【8月13日・サンセットビアガーデン in サンポート】



【10月18日・10月例会】

7. 女性会（会員数：114人）

（1）主たる事業

例会等の研修を通して研鑽を深めたほか、「四国八十八箇所霊場と遍路道」の世界遺産登録に向けた活動の一環として、お遍路さんの道しるべとなる「石柱」の設置、第4回高松国際ピアノコンクールへの協力事業等を行った。

（2）会議の開催

会議は、通常総会1回、正・副会長会1回、役員会4回、常任理事会4回、監事会1回、例会3回、経済・環境委員会1回、総務委員会2回、広報・情報委員会1回、事業委員会1回を開催した。



【5月23日・通常総会】



【8月14日・第52回高松まつり総おどり参加】



【11月17日・石柱設置式】

（うどん本陣山田家 讃岐本店東角）



【12月7日・講演会】

（第4回高松国際ピアノコンクール協力事業）